



園長だより

令和4年5月6日
富士市立昭和幼稚園

4月8日、可愛く元気な「ひよこ組」12人の新入园児を迎え、令和4年度の昭和幼稚園がスタートしました。進級し、一つずつ大きくなった「さくら組」「青組」の子どもたちは、「ひよこ組」のお兄さん・お姉さんとして、一緒に虫捕りをしたり、平均台や巧技台で遊んだりする姿が見られ、優しさを存分に発揮しています。今年の重点目標『いっしょにがんばる子』がいっぱいです。



いっしょにがんばる子

ひよこ組の子どもたちは、今、三輪車に興味を示しています。そこで、担任は、三輪車のコースを設定し、途中にガソリンスタンドの給油装置の模型を置きました。最初は個々に、園庭の様々な場所で三輪車をこぎ回していた子どもたちでしたが、さくら組の子どもたちが三輪車でコースを走り、ガソリン屋さんになつた友達からの給油を受ける姿を見て、それをまねるようになりました。すると、互いに関わり合い、順番にガソリン屋さんになったり、友達を後席に乗せたりする姿が見られるようになりました。



ごっこ遊びを楽しむことのできる想像力、順番を意識する道徳性、三輪車をこぐことが難しい友達を後席に乗せる思いやり、幼稚園で楽しく過ごすために必要なことを日ごとに身に付けつつあります。

さくら組の子どもたちは、保育室の新しいおもちゃに夢中です。その一つがブロックです。ひよこ組の井形ブロックとは異なり、細かなパーツを組み合わせて、具体物により近い形を表現することができます。「これはね、〇〇ちゃんのお家。お庭に滑り台や池があるよ。いいでしょ。」と、友達との会話が弾みます。



また、進級のお祝いにいただいたマーカーも、一つ大きい組になったことを実感することのできるアイテムです。この思いを生かそうと、担任は、丸い絵カードにマーカーで好きな色を塗り、紙の棒やリボンをつけて魔法の杖のように組み立てられるよう、材料を準備してあげました。もちろん、子どもたちは大喜び。でき上がった作品を見せ合ったり、くるくる回して「風車みたい！」と一緒に遊んだり、友達との関わりが広がっていきました。

新しい環境を主体的に受け入れ、その中で考え表現することに喜び・楽しさを見出し、その時々思いを言葉によって伝え合う。たくましく育ちつつあります。



青組の子どもたちは、チームを編成し、ルールに則って遊ぶドッジボールを楽しんでいます。担任は、敢えて指示的な声掛けを控え、応援しながら子どもたちの活動を見守るようにしています。すると、自分たちでチームの仲間分けをし、同じ人数にしようと数えたり並んで確かめたりする姿が見られるようになりました。また、強いボールを投げようと投球フォームを工夫したり、怖がらずにボールをキャッチして喜んだり、目標をもって遊びを楽しむ姿も見られるようになりました。時にはボールを奪い合いトラブルになることもありますが、これも大切な経験です。公正な判断をするために友達の意見を聞いたり、折り合いをつけるためにじゃんけんをしたりして、自分たちの力で問題を解決していきます。



健やかな心と体、友達と関わる中で互いの思いや考えなどを共有することのできる協同性、ルールを守り楽しさを確保しようとする規範意識・道徳性、必要感をもって身に付けていく数量感覚。青組ならではの育ちが感じられます。

◎ 3日に分け、学年ごとに実施した参加日及び PTA 総会へのご出席ありがとうございました。令和4年度のPTA 事業計画や規約改正（役員数の削減）等、すべての議案が承認されたことをご報告します。

◎ 5月13日（金）にロゼ・シアターにおいて開催が予定されていた市P連総会は、中止となりました。資料等を配布しますので、承認確認書の提出をお願いします。×切は5月13日（金）です。

◎ 5月25日（水）の引き渡し訓練に際し、吉永一小校区外にお住まいで、車の利用が必要な方は、早めにお知らせください。駐車場の調整をします。

